

District 2770



イマジン

ロータリー

会長：小林 賢弘
幹事：北林 隆一

Weekly Report

2022~2023 越谷東RC運営方針

●感謝と恩返しの輪を広げよう

2022~2023 RIテーマ

●イマジン ロータリー

越谷東
ロータリークラブ

創立1987年5月18日



〈例会日〉 毎週木曜日 12:30~13:30
〈事務局〉 〒343-0813 越谷市越ヶ谷3-7-1 (NTT東日本 越谷ビル2F)
☎ 048-965-2037 ☎ 048-965-2011
<http://www.koshigayahigashi-rc.org/> E-mail:info@koshigayahigashi-rc.org

第1720回例会

2023年2月9日

職場見学

(株)セキ薬品(宮代町)

第1721回例会

2023年2月16日

司会：会場運営委員会/守屋トミー
会報No.1510号/担当：委員一同

会員数：56名/出席数：31名
出席率：63.27%

平和構築と紛争予防月間

本日のビジターゲスト



NPO法人 越谷にプレーパークをつくる会
代表理事 瀧野 彩子 様



会長挨拶

会長 小林 賢弘

前は深い悲しみの中で鮎川誠さん追悼の挨拶となりましたが、今日は「私について語る」シリーズの第2回「IQ160の神童」編をお届けしようと思います。



母の入院後、水道橋神田三崎町での生活が4年後に妹が生まれるまで続きます。小石川後楽園で初めてよちよち歩き出した私は、三崎町から神保町、さらに御茶ノ水、駿河台までお散歩コースを広げていきます。この界隈は坂道がとても多く、神田川に沿って御茶ノ水駅から水道橋駅に向かって緩やかに下る坂道(文京区側が御茶ノ水坂、反対岸の千代田区側が角坂)角坂(さいかちざか)で、3歳の私はスキーデビューしました。ビンディングシステムなど無いスキー板に長靴を紐でくりつけたもので、竹のストックを持って滑ったそうです。

御茶ノ水駅から駿河台下・神保町に向かって歩き、明治大学の角を右に曲がり胸突坂を登っていくと、坂の頂点の閑静な場所に一軒のホテルがあります。山の上ホテルというのですが、ここは1937年(昭和12年)に完成したアールデコ調のクラシカルなホテルで、かつては出版社が密集していた神田に近いことから、作家の滞在や執筆促進目的の軟禁場所としてホテルに強制滞在させられる、所謂カンヅメに使われることが多く、文化人のホテルとして知られていました。

〈第1721回例会〉

- ◆黙 想
- ◆開会点鐘 会長 小林 賢弘
- ◆ロータリーソング斉唱「それこそロータリー」
- ◆クラブソング斉唱 「クラブ賛歌」(3番)
- ◆ビジターゲスト紹介 会長 小林 賢弘
- ◆会長挨拶 会長 小林 賢弘
- ◆幹事報告 幹事 北林 隆一
- ◆委員会報告
- ◆「委嘱書」及び「修了証」授与
- ◆外部卓話 紹介 隅田 敏
NPO法人 越谷にプレーパークをつくる会
代表理事 瀧野 彩子 様
- ◆スマイル報告 社会奉仕委員会 畔上 順平
- ◆出席報告 出席委員会 栗屋 裕二
- ◆閉会点鐘 会長 小林 賢弘

川端康成・三島由紀夫・池波正太郎・伊集院静らの作家が定宿としていました。三島は昭和30年当時「東京の真ん中にかういふ静かな宿があるとは思はなかつた。設備も清潔を極め、サービスもまだ少し素人つばい処が実にいい。ねがはくは、ここが有名になりすぎたり、はやりすぎたりしませんやうに」と語っています。今年度の最終例会は、この私の生まれ故郷にある山の上ホテルで開催しますので、皆様奮っての参加をお待ちしています。

さて私の方は、妹が生まれ幼稚園に入園する時から松原団地での生活が始まります。私の世代は団塊の世代の子供たち、第2次ベビーブームの何年か前ではありますが、かなり人数が多く小学校に入学した時は校舎が足らず、急遽建てられたプレハブ小屋の教室でした。2年生の時に新しい学校ができて6クラスになりましたが、1年生は12組までありました。パソコンもテレビゲームも何も無かった当時、学校から帰ると玄関にランドセルを放り投げて外に遊びに行く元気な普通の小学生でした。宿題だけは仕方なくやりましたが、家で勉強などしたことはありませんでした。それでも何故かテストの点は良かったので親は何も言いませんでした。小学校高学年になってIQテストを学校で実施するようになり、このテストの結果に担任の教師が親を呼んでの大騒ぎをします。150だか160という高い数値らしく私だけ放課後残され何回か再テストを受けさせられました。結果は大して変わらなかったようで、大学の偉い先生を紹介するだの、中学受験させたほうがいいだの色々吹き込まれた両親が勘違いをしてしまいました。なんと私に中学受験をさせることになったのです。5年・6年はクラス替えがなく、仲が良くとても楽しかった私は友だちと同じ公立の中学に当然進むつもりでいました。しかし教師の大騒ぎに完全に踊らされた母親は私を受験専門の塾に通わせることにしたのです。これには正直まいりました。東大進学も夢じゃないと担任に吹き込まれた母がとち狂って西日暮里にある桐杏学園という塾を見つけました。

当時東大合格者が多い「麻布・開成・武蔵」という私立校が御三家としてその名を轟かせていました。桐杏学園は開成中学のすぐ側にあり、御三家合格率No.1というスパルタ式の塾でした。難関校の入試問題というのは、相当性格の悪い教師が教科書をひねくれた頭でこねくり回して無理矢理作ったような問題ばかりで、IQ160の私は決して難しいとは感じませんでした。面倒くさくてつまらないものでした。

漠然とプロレスラーになりたいとしか思ってなかった私にとって、友だちとプロレスごっこや鬼ごっこをして楽しかった毎日から電車に乗って週4日塾に通うという一変した生活は苦痛でしかありませんでした。何しろこの頃私の足4の字固めに入るスピードは誰に

も真似できず、鎌固めの弧を描くブリッジとコブラツイストから円固めに移行する一連の動きは美しく、もはや芸術的だと友だちからもてはやされていたのです。

程なく塾に行きたくない病に冒された私は、乗換え駅の北千住のゲームセンターに入り浸るようになります。そこにたむろしていたクソガキ達にからまれて始まったいざごは、やがて私も地元の仲間を呼び寄せたの全面抗争に拡大します。しかしプロレスラーのプライドを持ち華麗なプロレス技を駆使する私にとって、北千住の鼻っただもは所詮敵ではなく、そのゲーセンは私達が完全制覇します。私の素行の悪さはこの頃から始まったようです。

話を戻して私の中学受験ですが、まるでやる気のない私を泣いて説得した母親のためにとうとう開成中学・慶応中等部・すべり止めに立教中学の3校を受験することになりました。北千住の抗争を共に戦った仲間たちと同じ地元の中学にどうしても行きたかった私は受験しないのではなく、でたらめな答えを書いて不合格になれば、母の顔も立てることができ、仲間と一緒に中学に行けることに気が付きます。しかし母の涙に弱い私が完璧に立てた計画には落とし穴が一つありました。5・6年生のクラスは違ったのですが過去何度か同じクラスだった戸津くんという同級生がいました。母親はPTA会長をやっているマンガみたいな教育ママで立教大学を出ているらしく、ガリ勉の戸津くんは立教中学を受けると公言していました。勉強をまるでしない私に成績で勝てないのが悔しいのか、勝手にライバル視して突っかかってくるような絡みづらいやつでした。私が立教中学を受けなければよかったのですが、担任と母がすでに決めてしまっていて受験は避けられません。わざと不合格になれば勝ち誇った顔をして上から見下した態度でからんでくるのが目に見えます。それは絶対に許せないの立教中学は真面目に受けて合格しました。所詮すべり止めなので本命校には高校から入ると言えば合格しても行かなくて済むと考えたのです。しかし母と担任の壁はそれほど甘くはありませんでした。母には泣いてお願いされ、担任には「君の将来のためだから」としつこく説得され、私は嫌々立教中学に入学することになったのです。

さてそろそろ本日はお時間となりますので続きは次回に持ち越します。ありがとうございました。



スマイル報告

社会奉仕委員会 畔上 順平

今 回	21,000円
累 計	608,500円

幹事報告させていただきます。

トルコ地震についての義援金の協力要請が近々地区よりあるそうです。

また、昨日の会長幹事会で、第8グループでもトルコに古着や寝袋を送ってはいかがかということになりました。具体的な方法は現在調整中ですので詳細が決まり次第皆様にお伝えいたします。来週2/23は祝日の為、休会となります。次回は3/2(木)例会場での第一例会となります。

また、当クラブの青木伸翁会員が2/21(火)に越谷中クラブで卓話をするので、越谷東RCの皆様、是非メンバーキャップに来てくださると、坪井会長よりのお誘いがありました。

以上幹事報告でした。



【奥の細道 芭蕉】(金昌寺)

よもすがら 秋風聞くや 裏の山
一晩中、眠れず寺の裏山に吹いている
秋風の音を聞いていると、師匠(松尾芭蕉)と別れた寂しさが身に染みてくる。
(出席委員会)



【奥の細道 芭蕉】(金昌寺)

庭掃きて 出でばや寺に 散る柳
寺の境内に柳の葉が散り敷いている。寺に泊めてもらったお礼に、ほうきで掃いてから出発しようよ。
(出席委員会)

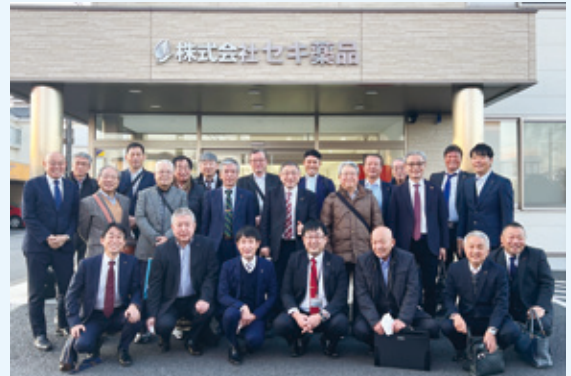


第1720回例会

2023年2月9日

職場見学

(株)セキ薬品(宮代町)



勝手に雪だるま

2023年2月11日(土)・12日(日)



外部卓話



NPO法人 越谷にプレーパークをつくる会
代表理事 洲野 彩子様

子どもの育ちに必要な遊びの世界

子どもの「やりたい」という気持ちから始まる遊びは、自己肯定感や創造力、コミュニケーション力を育てていきます。日本小児科医学会も「遊びは子どもの主食」なので子どもの遊び場を確保するのは地域の大人の責任と訴えています。特に五感を使う屋外での遊びの機会はとても大切です。ユニセフもより外遊びをする子どものほうが幸福度が高いとの調査結果を報告しています。

自由な遊びの環境が減少しています。

近年、公園での禁止事項が増え自由に遊ぶことが許されなかったり、習い事や学習など大人が管理しているスケジュールの中で過ごす子どもたちが増え、遊びに必要な空間、時間、仲間が減少しています。特に放課後に屋外で遊ぶ子どもの姿が見えなくなりました。これは新型コロナウイルスの感染拡大で行動制限がされてから、さらに減少傾向が加速しています。このままでは子どもの屋外での遊び環境が失われてしまうとさえ感じます。

私たちの活動について

私たちNPO法人越谷にプレーパークをつくる会は2002年より子どもがのびのびと自由に外で遊ぶことのできる常設の場「冒険遊び場（プレーパーク）」

を越谷市内につくりたいと活動をはじめました。現在は常設には至っていませんが、越谷市との協働で第1土日に越谷総合公園で、第3土曜日に東越谷第7公園でプレーパークを開催しています。また乳幼児親子のための外遊び事業にも積極的に取り組んでいます。さらにコロナ禍で加速した外遊びの減少傾向を少しでも解消したいと願い、越谷市内の様々な屋外空間に向かい行って遊びの機会をつくる事業に取り組み始めました。スーツケースに遊び道具を入れて始めましたが、ぜひ今後はオリジナルカーをつくって活動したいと考えています。

越谷東ロータリークラブの皆様へのお願い

オリジナルカーをつくるためには、車両を購入し、道具を揃えなければなりません。また、ランニングコストもかかるため、資金調達は必須です。越谷東ロータリークラブの皆様にご賛助会員となっただけで、継続的な援助をいただけたら大変ありがたいです。（QRコードからお申込みいただけます。）

子どものしあわせな未来のために
ご支援のほどどうぞよろしくお願い
いたします。

